

森町教育委員会定例会会議録 (要旨)

会議名	令和5年9月森町教育委員会定例会				
開催日時	令和5年9月26日(火) 13時30分				
会場	森町文化会館 第2研修室				
出席委員	教育長	野口和英			
	委員	村松昌吾			
	委員	鈴木眞子			
	委員	早馬保男			
	委員	佐藤佐和子			
出席者	学校教育課 課長	塩澤由記弥	健康こども課 課長	朝比奈礼子	
	課長補佐	土屋智也乃	社会教育課 課長	三澤由紀子	
	庶務係長	鈴木真央	社会教育係長	中村美幸	
傍聴者	なし				

1 開会

教育長	委員の出席を確認し、開会を宣告。
-----	------------------

2 前回会議録の承認

教育長	事前に配付してある前回定例会の会議録について、質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
教育長	前回定例会会議録の承認を宣し、教育長の報告を求める。

3 教育長の報告

教育長	9月に開催及び出席した各種会議等について報告する。
1日	・令和5年9月森町議会定例会 (報告事項・専決事項・人事案件 条例 招集 本会議 全員協議会 ・補正予算・決算認定、提案理由説明)
3日	・防災訓練 (袋井消防署森分庁舎内に災害対策本部 を設置しての訓練)
4日	・教職員人事評価面談 (各小中学校長との人事評価面談)
6日	・一般質問打合せ (9月定例議会における一般質問答弁に 係る打合せ)
7日	・本会議2日目 (条例・補正予算・決算認定に係る質疑)
11日	・常任委員会 (第1常任委員会へ学校教育課・社会教 育課職員と共に出席)
13日	・教育事業団体会長・副会長来庁 (新入学児童対象配付物の依頼) ・校長会人事・給与・定数委員会来庁 (教職員人事・給与・定数の改善への働 きかけ要請)
15日	・森町農業経営者会長来庁 (森町産こしひかりの説明・寄贈) ・課長会議 (総務課からの連絡等)
16日	・第2回就学支援委員会 (就学支援対象児童・生徒の審議) ・杭迫柏樹日中文化交流展 (東アジア文化都市2023静岡県開催に伴 う作品展オープニング出席)
19日	・本会議3日目 (一般質問及びそれに対する答弁)
21日	・本会議最終日 (一般質問・答弁・常任委員会委員長報

	<p>交通安全インターバル作戦 (雨天のため中止)</p> <p>22日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静大教職大学院教授・派遣職員来庁 ・男女共同参画講演会(小ホール) <p>24日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーバドミントン大会(森アリーナ) <p>25日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行打合せ <p>26日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会定例会 <p>27日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静西教育事務所人事管理訪問 <p>28日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭会人事・給与委員会来庁 <p>29日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦没者追悼式(大ホール) 	<p>告、条例・補正予算・決算認定に係る 討論・採決) (秋の全国交通安全運動に伴うPR活動)</p> <p>(大学院での研修進捗状況報告) (鈴木げん氏による性の多様性について の講演)</p> <p>(開会式挨拶)</p> <p>(旭中・森中の校長・担当職員と学校教 育課・社会教育課の打合せ)</p> <p>(9月定例会)</p> <p>(旭が丘中・飯田小への人事管理訪問)</p> <p>(学校施設、教職員人事に係る要請)</p> <p>(戦没者追悼式に出席)</p>
教 育 長	教育長の報告について、質疑を求める。	
委員 全員	質疑なし承認。	

4 付議する案件

【議 事】

教 育 長	議事について事務局に説明を求める。 議第23号について説明を求める。非公開とする。
学校教育課 課長補佐	議第23号 準要保護の認定について
委員 全員	承認。

【報告事項】

教 育 長	続いて報告事項について事務局に説明を求める。 報第33号について説明を求める。
庶務係長	報第33号 県費負担教職員の臨時的任用について 10月1日から臨時的任用職員として4名の任用を更新する。いずれも欠員補充として4 月から半年の任用ののち、6ヶ月を超えない範囲で更新ができることになっているため、 10月1日から来年3月末まで再度任用をする。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。
教 育 長	報第34号について説明を求める。
健康こども課長	報第34号 幼稚園会計年度任用職員の任用について 預かり保育指導員・支援員の任用について、飯田幼稚園の指導員に森谷さんを、森幼稚園 の支援員に齋藤さんをそれぞれ新規で10月1日から任用する。
教 育 長	以上について質疑を求める。
委員 全員	質疑なし承認。
教 育 長	報第35号について説明を求める。
社会教育係長	報第35号 令和6年森町はたちの集いの開催について

	<p>今年度も二十歳という人生の節目を迎えた者を祝い、励ますために式典を開催する。森町と森町教育委員会の共催で、企画運営は森町はたちの集い実行委員会が行う。本年度の実行委員は森中卒業生が2名、旭が丘中卒業生が3名、磐田東中卒業生が1名の計6名。</p> <p>式典の日時は令和6年1月7日(日)、開式は9時45分で文化会館大ホールで行う。内容は資料のとおりでアトラクションは実行委員企画で行う。記念品については例年どおり記念写真とし、4地区に分けて撮影、後日送付する予定。また、次第にある閉式の辞を村松委員に、町民憲章を佐藤委員にお願いしたい。</p>
教育長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
教育長	報第36号について説明を求める。
学校教育課長	<p>報第36号 森町議会9月定例会報告について</p> <p>1日(金)に本会議の招集があり、報告事項、人事案件、条例や補正予算の提案理由の説明がされた。教育委員会に関することとして、10月1日から新たな教育委員として宮崎智栄さんの任命について議会の同意をいただいた。また終了後、全員協議会が開かれ1日目は終了した。7日(木)の本会議2日目は、条例と補正予算、決算認定の質疑が行われ、11日(月)の常任委員会では補正予算の内容について審議が行われた。さらに19日(火)の本会議3日目の一般質問では8名の議員から質問があり、教育関係では3名の議員から質問があった。</p>
社会教育課長	<p>まず中根幸男議員から「歴史的町並みの整備について」ということで、先日行われた文化講演会を聴講されて、「歴史的文化的建築物の整備に力を入れ、つながりを持った町並み整備を町として進める必要があると思うがどうか。」と「個人が行う町並み整備事業に対する補助制度を設けてはどうか。」という質問であった。</p> <p>町長からの答弁として、令和4年5月に建設課で森町景観計画を策定しており、特徴的な歴史や文化景観が残る地域や多くの町民に親しまれる景観を有する地域、特徴的な景観を町内外に広め、多くの人に来町してもらいたい地域、地域で景観まちづくりを進めている、または考えている地域等の観点から、町が地区を指定して進めることができるというものがあるということを紹介しながら、この森町景観計画に基づく町並み整備についても、まずは住民の町並み保存、活用に対する意識の高まりが不可欠であるということ、町並み整備は町が主導して進めるのではなく、行政と住民が共に進めることで充実した成果が出ると考え、町民の機運を高めるための方向性を検討すると答弁をした。2点目の補助制度についての質問については、講演会の中でもいろいろな制度があるという紹介があり、文化庁、国土交通省、観光庁で扱っている町並み、景観を維持するための補助制度を紹介させていただいたが、制度についてはそれぞれ条件があり、クリアしたうえで申請が認められる必要があると説明しながら、1点目で答弁したようにまず町並み整備をどう行っていくのかという方向性を整理しなければなかなか進められないことであるため、どのような行為に対して補助していくのが効果的なのか、先進地の制度を参考にしながら調査研究をしていくと答弁した。また再質問の中で講演会にあった八女市の取組みとして、NP0が町屋の設計施工管理を行っているということで森町でも同様の取組みができないか、1、2件モデル的にやってみてはという提案に対し、町長より文化財として価値があるものについては活用を進めるべきなのか、また商業的に活用できるのかを整理する必要があり、所有者側の理解も必要であるため、まずは国の制度を調査研究したうえで検討すると答弁した。</p> <p>次に平川議員から、藤本コレクションや杭迫先生などの作品を管理している中で、今後また作品が増えた場合のスペースの問題や常設設置ができない問題があるということで、「森町に美術館の建設が必要と考えるが、計画の予定があるか。」という質問があり町長より答弁をした。まず、今ある作品数等について申し上げ、現時点で具体的な建設の計画はないが、ただ美術品を適切に保管できる収蔵庫と常設展示ができる施設の必要性は感じている。しかしながら設計や建築に多額の資金が必要であるということと、建てた後の運営や維持管理にも費用がかかることが想定されるため、学芸員を配置するかも含め、かかる費用や運営に関する多方面の情報を収集し、将来にわたって安定的に運営できる施設について調査研究をしていくと答弁した。また再質問の中で「教育長はどう考えるか。」ということで、児童生徒にとって情操教育を養うことができると考えるため、将来的に可能性を残しながら検討していくと答弁をした。</p>
学校教育課長	次に清水議員からは、「小中学校を統合した結果を確認する。」ということで①統合計

	<p>面時の目的に対し、現在の状況は達成されたのか。②統合後に発生したと考えられる課題は何か。③統合に伴う児童生徒の精神的な課題を把握しているか。という3つの質問であった。教育長からの答弁として、①について、学校とは集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、励まし合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して一人一人の資質や能力を伸ばしていくところであるという観点に立ち、子供たちの心豊かでたくましい一人の人間としての成長を第一とするという目的に対し、現状についてアンケートを実施している中で「友達が増えた」や「大人数で体育などを楽しめるようになった」「競う人が増えて頑張ろうと思えるようになった」等の意見が出されており、統合後の安定した学校の様子を確認できていることから、統合の目的は達成されたのではないかと考えている。②と③の質問である、統合後に発生したと考えられる課題及び統合に伴う精神的な課題の把握については、児童生徒の精神的な課題、履修漏れ等の学習面の課題、バス通学による課題、そして地域との繋がりについての課題の4つに対して対応を図ってきたと説明した。精神的な課題に対しては、学校にスクールカウンセラーを配置し、また児童生徒にアンケートを実施し、様子を十分に把握、観察をしているということと、併せて三倉・天方小、泉陽中に配置していた職員を森小、森中に配置することによって児童生徒が安心して生活できたり、職員についても注意深く観察ができるような職員配置に配慮している。また不登校傾向の児童生徒はどこの学校にもいるが、原因としては単に学校統合という単純なものではなく、友人関係のトラブルや学習面の問題、家庭の問題であったり、いろいろな問題に起因した表れであり、学校等が原因で不登校になっているという事例はないと判断していると答弁した。その他の課題については、学習面の課題に対しては非常勤講師を追加配置することで課題の解消を図り、バス通学に対してはやまゆり三倉、アマガタに協力をいただき安定したバス運行を行っている。また地域との繋がりについては、森小ではそれぞれの学年で「総合的な学習の時間」の中で三倉天方地区を訪れて文化や環境を知る機会としていると説明した。結論としては、統合時に想定していた課題への対応はできており、今現在森小、森中における課題はどこの学校でも共通する課題であると考えている。学校統合により地区が広がったことから、児童生徒だけではなく保護者にとっても今まで馴染みの薄かった地域と関わりを持ち、良い機会となっている。この経験を生かし、今後のより良い学校のあり方に生かしてまいりたいと教育長より答弁をした。</p>
教育長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。
教育長	報第37号について説明を求める。
社会教育係長	<p>報第37号 森の夢づくり大学運営要綱の一部改正について 森の夢づくり大学も今年で17年目を迎え、時代の変化や学生の意識も変化してきたため、改めて要綱を見直し現状に合わせた形に定める。改正内容については資料のとおり。 なお、今回の改正は令和5年8月8日に開催した「森の夢づくり大学第1回理事会役員会」で承認を得ているが、ご指摘等あればお願いしたい。</p>
教育長	以上について質疑を求める。
委員全員	質疑なし承認。

5 連絡事項

教育長	連絡事項について、説明を求める。
庶務係長	<ul style="list-style-type: none"> 各校区一貫教育研究会を開催するので出席をお願いする。 次回定例会を10月25日(水)13時30分から文化会館第2研修室で予定。

6 閉会

教育長	以上で本日の日程を終了し、閉会とする。 14時10分閉会
-----	---------------------------------

上記のとおり、会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

署 名 人 教 育 長

委 員

委 員

委 員

委 員

事 務 局
